

早期景気観測調査

【2-3 月期 調査結果概要報告書】

平成29年4月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年3月15日(水)～31日(金)
4. 調査対象： 当所会員150事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 104件
7. 有効回答率： 69.3%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2－3月期の動き】

業況は改善するも一進一退。業種別でも業況の推移にバラつき。向こう3カ月の先行きは悪化の見通し。

2－3月期の全業種総合のD Iは▲21. 2（前期比＋6. 8ポイント）となり、改善に転じた。売上D Iが4期連続で改善し、採算D I・従業員D Iもともに改善に転じている。一方で、仕入単価D Iは2期連続で悪化し、金融貸出しD Iについても、3期ぶりに悪化に転じている。向こう3カ月の先行き業況は、悪化する見通し。

業種別では、製造業・卸売業・サービス業で業況改善、建設業・小売業で業況悪化となった。

製造業の業況D Iは▲8. 0（前期比＋5. 0ポイント）と改善に転じた。売上D I・採算D Iがそれぞれ改善に転じた一方で、仕入単価D Iは悪化に転じ、従業員D Iは3期連続の悪化となった。金融貸出しD Iについてはほぼ横ばいとなっている。

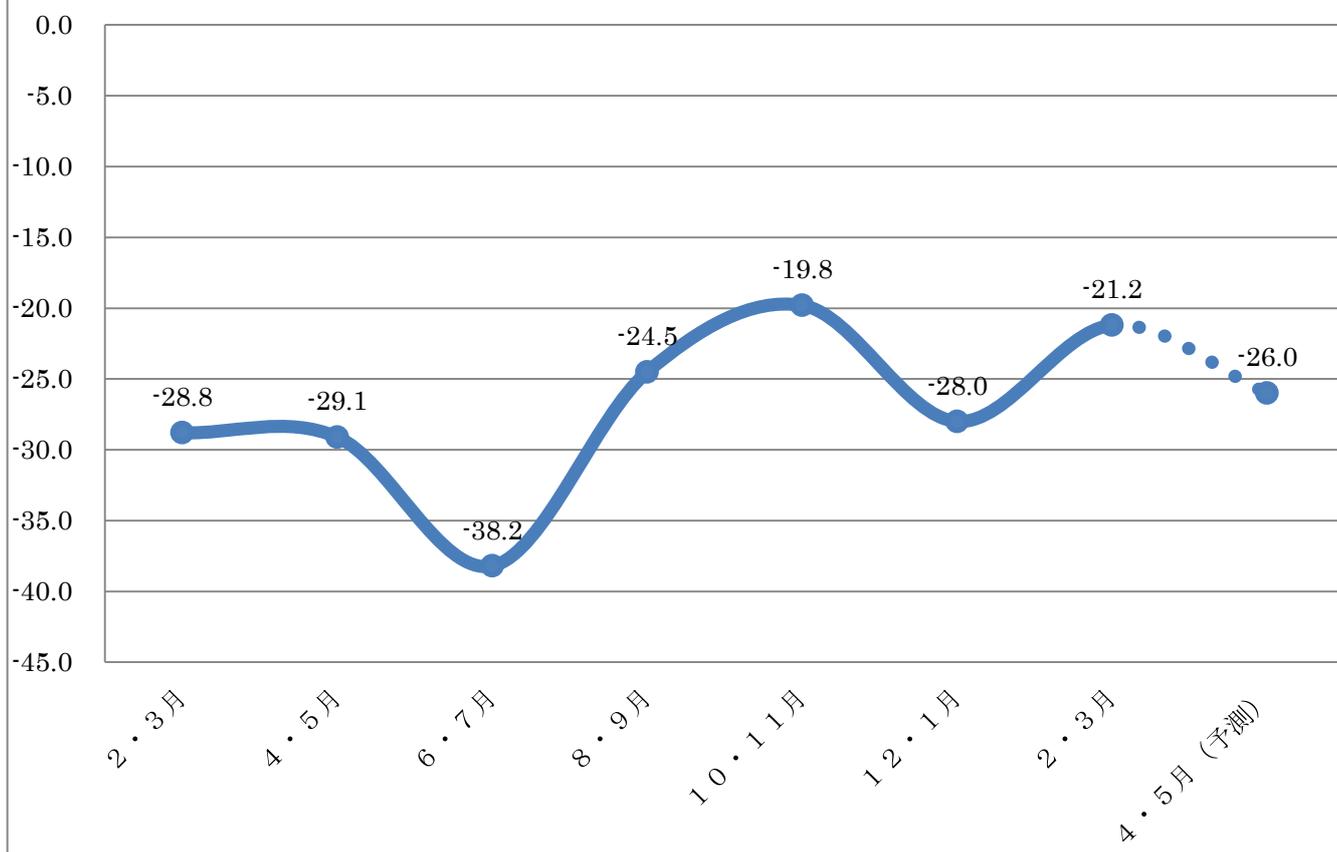
建設業の業況D Iは▲31. 6（前期比▲10. 5ポイント）と2期連続の悪化となった。採算D Iが改善に転じ、売上D Iについても3期連続の改善となり、26. 3ポイントの大幅なプラスとなった。しかし、仕入単価D Iは悪化に転じ、21. 0ポイントの大幅なマイナスとなり、従業員D Iについては2期連続の悪化となった。金融貸出しD Iは、横ばいとなっている。

卸売業の業況D Iは▲33. 3（前期比＋37. 3ポイント）と大幅な改善に転じた。金融貸出しD Iを除き、売上D I・採算D I・仕入単価D I・従業員D Iのいずれも改善に転じた。とりわけ、売上D Iは29. 7ポイント、従業員D Iは32. 4ポイントの大幅なプラスとなっている。唯一、金融貸出しD Iのみ悪化に転じている。

小売業の業況D Iは▲30. 8（前期比▲10. 8ポイント）と4期ぶりの悪化となった。売上D Iは小幅に悪化し、仕入単価D Iは2期連続の悪化となった。一方で、採算D Iは4期連続で改善し、従業員D Iについても改善に転じた。金融貸出しD Iは悪化に転じている。

サービス業の業況D Iは0. 0（前期比＋25. 0ポイント）と大幅な改善となった。売上D I・採算D Iがともに2期連続で改善。仕入単価D Iも改善に転じた。従業員D Iは横ばい、金融貸出しD Iは悪化に転じた。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2 1 . 2	▲ 2 6 . 0	▲ 1 4 . 4	▲ 2 3 . 1	▲ 2 9 . 8	1 3 . 5	▲ 1 . 0

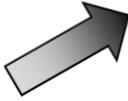
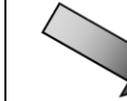
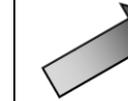
2-3月期の全業種総合の業況D I は、▲ 2 1 . 2 (前期比+6 . 8ポイント) となり、改善に転じた。

項目別では、売上D I (▲ 2 7 . 0 → ▲ 1 4 . 4) が4期連続で改善。採算D I (▲ 3 1 . 0 → ▲ 2 3 . 1) ・従業員D I (1 0 . 0 → 1 3 . 5) もともに改善に転じている。一方で、仕入単価D I (▲ 2 7 . 0 → ▲ 2 9 . 8) は2期連続で悪化している。金融貸出しD I (4 . 0 → ▲ 1 . 0) については、3期ぶりに悪化に転じている。

向こう3カ月の先行き業況は、▲ 2 6 . 0と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業

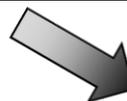
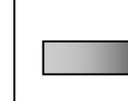
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 8. 0	▲ 1 6. 0	▲ 4. 0	▲ 1 2. 0	▲ 1 6. 0	▲ 4. 0	▲ 4. 0

業況DIは▲8.0（前期比+5.0ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上DI（▲8.7→▲4.0）・採算DI（▲17.4→▲12.0）がそれぞれ改善に転じた一方で、仕入単価DI（▲13.0→▲16.0）は悪化に転じ、従業員DI（4.3→▲4.0）は3期連続の悪化となった。金融貸出しDI（▲4.3→4.0）についてはほぼ横ばいとなっている。

向こう3カ月の業況は、▲16.0と悪化する見通し。

建設業

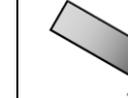
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 1. 6	▲ 3 6. 8	▲ 5. 3	▲ 2 6. 3	▲ 4 2. 1	1 0. 5	0. 0

業況DIは▲31.6（前期比▲10.5ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、採算DI（▲31.6→▲26.3）が改善に転じ、売上DI（▲31.6→▲5.3）についても3期連続の改善となり、26.3ポイントの大幅なプラスとなった。しかし、仕入単価DI（▲21.1→▲42.1）は悪化に転じ、21.0ポイントの大幅なマイナスとなり、従業員DI（15.8→10.5）については2期連続の悪化となった。金融貸出しDI（0.0）については、横ばいとなっている。

向こう3カ月の業況は、▲36.8と悪化する見通し。

卸売業

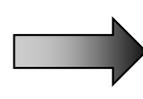
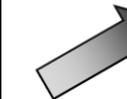
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲33.3	▲16.7	▲5.6	▲44.4	▲38.9	50.0	5.6

業況DIは▲33.3（前期比+37.3ポイント）と大幅な改善に転じた。

項目別では、金融貸出しDIを除き、売上DI（▲35.3→▲5.6）・採算DI（▲52.9→▲44.4）・仕入単価DI（▲52.9→▲38.9）・従業員DI（17.6→50.0）のいずれも改善に転じた。とりわけ、売上DIは29.7ポイント、従業員DIは32.4ポイントの大幅なプラスとなっている。唯一、金融貸出しDI（17.6→5.6）のみ悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲16.7と改善する見通し。

小売業

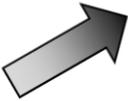
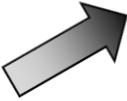
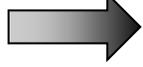
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲30.8	▲30.8	▲38.5	▲23.1	▲23.1	11.5	0.0

業況DIは▲30.8（前期比▲10.8ポイント）と4期ぶりの悪化となった。

項目別では、売上DI（▲36.0→▲38.5）は小幅に悪化し、仕入単価DI（▲16.0→▲23.1）は2期連続の悪化となった。一方で、採算DI（▲28.0→▲23.1）は4期連続で改善し、従業員DI（8.0→11.5）についても改善に転じた。金融貸出しDI（4.0→0.0）は悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲30.8と横ばいの見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲31.3	▲12.5	▲12.5	▲37.5	6.3	▲6.3

業況DIは0.0（前期比+25.0ポイント）と大幅な改善となった。

項目別では、売上DI（▲25.0→▲12.5）・採算DI（▲31.3→▲12.5）がともに2期連続で改善。仕入単価DI（▲43.8→▲37.5）も改善に転じた。従業員DI（6.3）は横ばい、金融貸出しDI（6.3→▲6.3）は悪化に転じた。

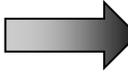
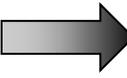
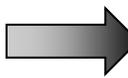
向こう3ヶ月の業況は、▲31.3と大幅に悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

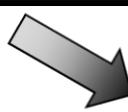
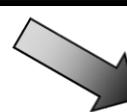
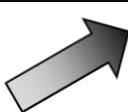
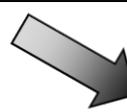
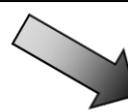
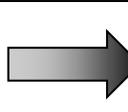
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

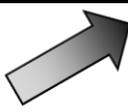
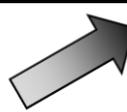
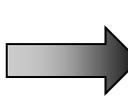
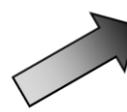
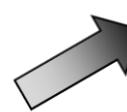
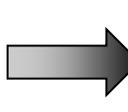
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

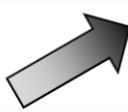
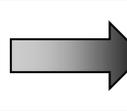
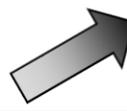
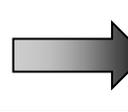
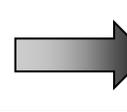
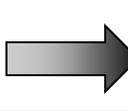
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

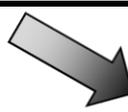
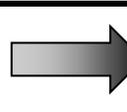
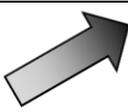
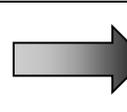
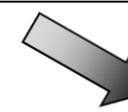
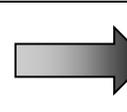
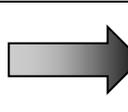
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

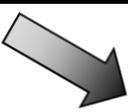
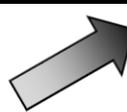
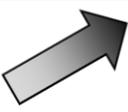
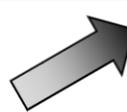
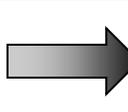
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

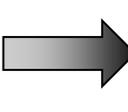
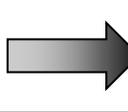
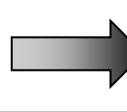
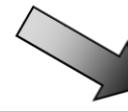
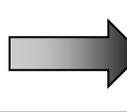
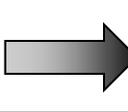
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

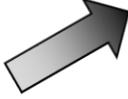
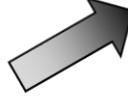
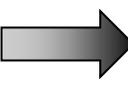
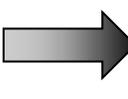
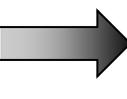
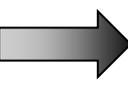
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

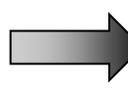
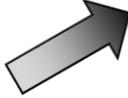
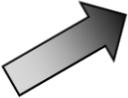
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

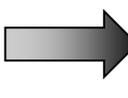
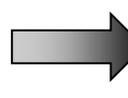
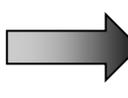
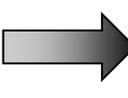
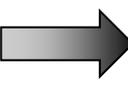
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

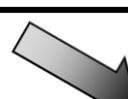
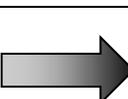
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

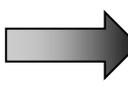
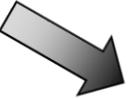
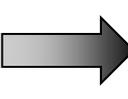
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・顧客のうち、ホテル関係については3月よりのメニュー切り替え。外食も含めメニューから外れた部分があり、業況見通しは悪い。昨年比4円程度円安のASドルも仕入単価において不安材料。
- ・前月に続きバス集客はとても厳しい状況です。清酒売上は昨年より増加しており、今後も期待が持てますが、焼酎の減少がまだまだ続き、売上減少の要因の一部でもあります。

製造業（家具）

- ・アメリカの大統領交代、イギリスのEU離脱、中国の景気後退、韓国の朴政権崩壊、北朝鮮問題、これだけの大きな問題を抱え一旦緩急あれば、経済はガタガタになります。本心を言えば、とても将来を見通す自信はありません。

製造業（工業製品）

- ・仕事量が増加しているのに、人材が不足しすぎている。
- ・水晶業界としては、全体的には生産は微減。旧正月の影響もあり受注はダウン。携帯電話用では、水晶振動子、TCXOはまだ需要は高く、自動車用は堅調を維持しています。

製造業（宝飾）

- ・個人消費は、先行き不安感からの節約志向が続き、市場環境は厳しい状況が続いている。先日開催された香港ジュエリーフェアは、昨年よりは来場者数も多く感じられ活況感もありましたが、利益に結びつかなかった。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事（中部横断道、新環状線、城東バイパス等）が進んでおらず、民間を前に進めない状況。したがって民間の設備投資も悪い。今までで1番地場の産業が遅れている。
- ・工事関係は変わらない。商品販売は悪い。

建設業（土木）

- ・公共工事が、国からの予算激減で物件が少なく、民間も景気が悪くなっております。工事物件が全般的に少なく、最悪な状態になってきております。

建設業（鉄鋼）

- ・県の入札制度において失格ラインが上がったことにより、H29年度より競争の緩和及び利益率のアップが見込まれる。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・水産業界は、地球温暖化による気象変化のため、イカ、サンマ、サケ等の不漁、魚価の高騰及び世界の食糧変化による輸入単価の値上げ、また後継者不足のため、小売店の廃業による売先の減少など、不安材料が山積です。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・プライダル商品のメーカーとしての部分は減少が始まっています。

小売業（事務用品）

- ・配送料が上がってきたら、弊社のような納品店がクッションにならなければならないのが怖い。また、メーカーがある程度の金額を発注しないと送料無料では送ってこなくなる。その結果納期が遅れる。

小売業（趣味・日用品）

- ・街の人出はあまりにも少なく、まして買物客は固定客を除けばほとんど期待できない。
- ・2月以降、客数、売上額ともに大変厳しい状況が続いている。業界的にもいい話は届いていない。
- ・4~6月の間でメーカー各社値上げ有り。

小売業（家電）

- ・ここ数年、数か月業績悪化の状況です。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・閑散期が終了する事で、県外からの観光客増に期待。
- ・2月は昨年のほうが旅館の利用者が多かったが、3月に入り多くお客様が利用して下さっています。4月5月を期待したいと思います。

サービス業（観光）

- ・団体客、個人客、例年より少ないです。
- ・前年の2-3月の燃料（主に軽油）仕入単価が特に低かったため、本2-3月はこの水準と比較すると仕入単価が上昇しています。
- ・4月より社員2名増。働き方改革も必要。

サービス業（飲食その他）

- ・無し婚や、小さな結婚式、また海外での式がこれからますます多くなる。
- ・3月4月は歓送迎会の時期なので、年間売り上げでは3番、4番目の順位だが、5月の連休は例年落ち込むことが予想される。

以上